

マッカラン30年
フェイクボトル
を
開けてみた。

秋吉君

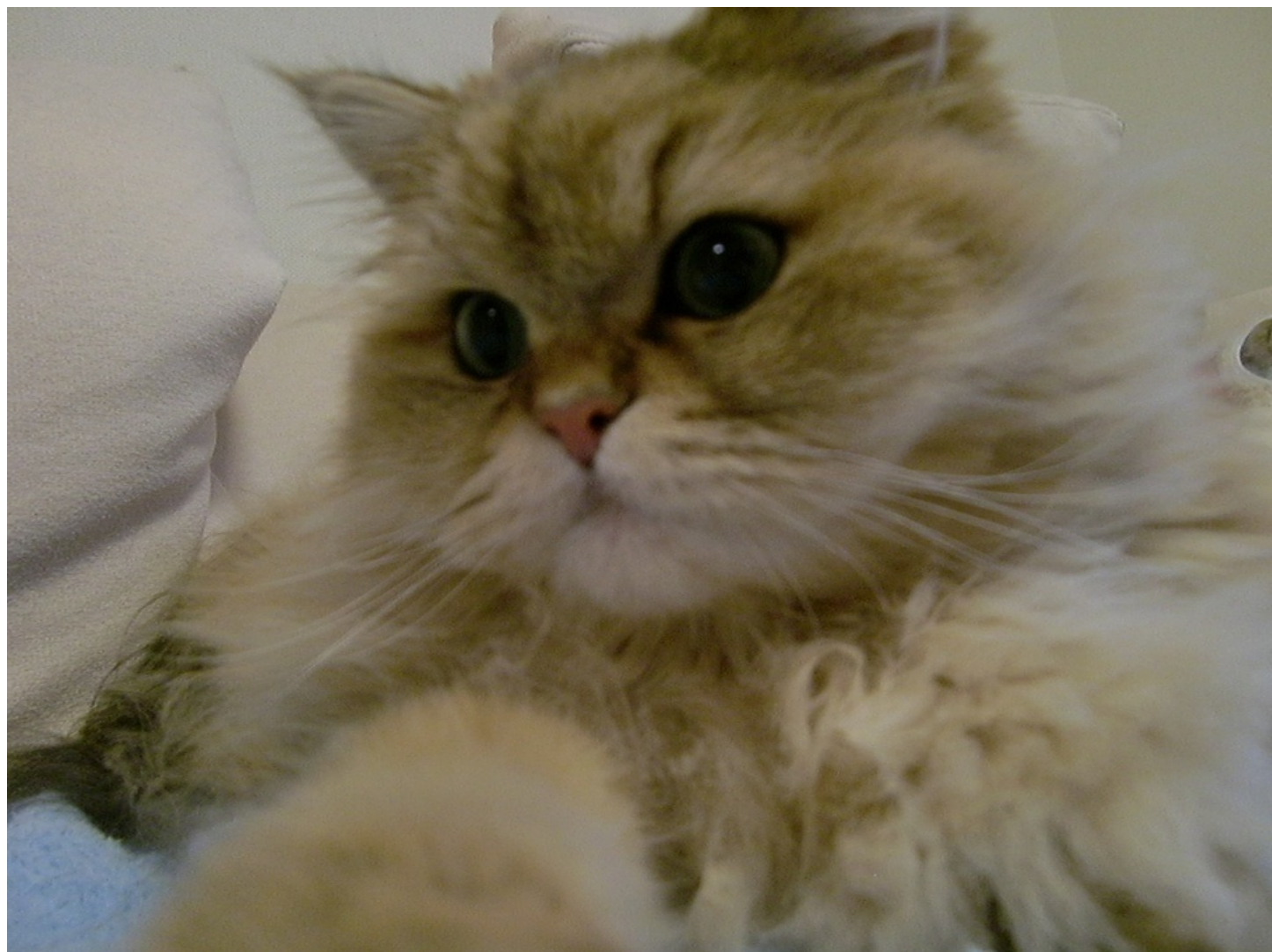
「おしえて！むぎちゃん

マッカラン30年の見分け方」で使
マッカラン30年フェイクボトル



本日は、これを開栓したいと思います

今回出番の少ないむぎちゃん。



むぎ「別に興味ないし」



うべろ～ん

では早速・・・

キャップ部分はこうなっています。



紙のシールで見分けがつくという説もあるようですが・・・

私には分かりません。



あくまで推測ですが、フェイクボトルは
12年か何か安いマッカランのキャップ部分を
下からうまく剥がした奴を使っているのではないか・・・



普通に開けるのでは芸がないので
本当にそのやり方が可能かどうか検証したいと思います
この皺になった部分を攻める！

入刀。



思った以上にあっさりナイフの刃が入り

スムーズにキャップ下部分を広げることができました。



・・・が、ナイフでやったのがいけなかったのか
裂けてしまった。



しかも、何者かが邪魔をしに来た気配・・・



めげずに続行。

この状態では金属キャップのみ抜き取ることにはできない。

そこで・・・

金属キャップもろともコルク栓を開けてみてはどうだろう？

と思い至る。



呆気なくするすると外れて



すっぽりと。



キャップの中はこんな具合。



コルクの状態は結構古い感じ？



開栓完了。

ギャラリーも集まってまいりました。



注ぎます。



漂う香りはシェリーな感じで、マッカランっぽい。



では、毒見をば . . .



舌が鼻に届きますか？

こうして写すとそれっぽく見えますが

とんでもないお味。

まず口に入れた瞬間、「ぴりり」ではなく「ビリリ」と刺激的
シェリー香はありますが、不自然でベタベタと甘い



広がりも余韻もあったもんじゃない
ひたすら不愉快な液体。
ただし、「マッカランらしい」ニュアンスが若干残っている。
若いマッカランにシェリーか何かリキュールを混入した、
そんな代物ではないかという感想です。



以前にも某所で
フェイクのマッカラン30年を飲んだことがありますが
ほぼ同じ類のもの。

注いだのは1ショット足らずですが
とても飲むことは出来ません。さようなら。



こんな物が世に存在してはいけない。
製造し流通させた者に怒りと虚しさを覚えつつ。



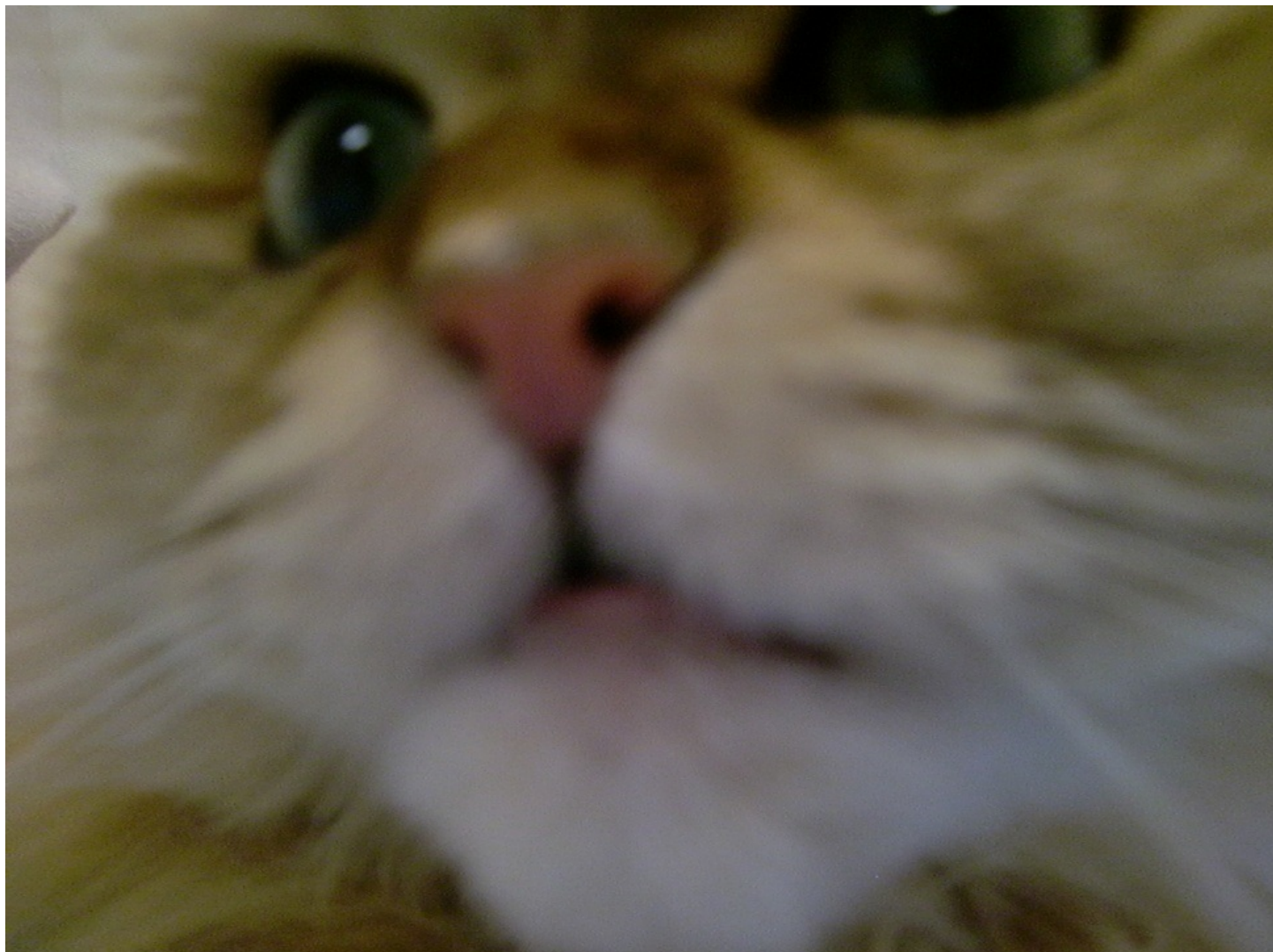
結果は予期していたものの、切ないですね～



一応、キャップも解体させておきましょう。



このボトルは以前
某オークションサイトで購入したものです。
フェイクなどというものが存在するとは
思ってもいなかった頃です。



いまだに、３０年のフェイクが出回っていると聞きます・・・

この記録が

フェイク撲滅の一助になれば幸いです



終劇